

北見農試公開デー2012を開催しました

多くの方々にご来場いただき、ありがとうございました

今年で10回目となる北見農業試験場公開デー2012を8月9日に開催し、235名（うち子供66名）の方々にご参加いただきました。ご来場、ご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。

ほ場見学バスツアーでは、作物の品種改良や栽培法試験について職員の説明を受けながら、牧草（チモシー）馬鈴しょ、豆類、春まき小麦の試験ほ場を見ていただきました。



クイズラリーに挑戦いただいた方には、景品としてYES!cleanのPRグッズや農試産の馬鈴しょ・たまねぎをお持ち帰りいただきました。



畑で働く農業機械展では、トラクタなど一般的な農業機械のほか、試験専用の特殊な播種機や収穫機もご覧いただきました。



試食コーナーでは、北見農試が開発した品種を中心に、ばれいしょ「オホーツクチップ」のポテトチップスと「ゆきつぶら」の蒸かしいも、小麦「はるきらり」のバターロールパン、たまねぎ「収太郎」のオニオンフライ、小豆「きたろまん」のお汁粉といった、公開デーならではのオリジナルメニューを堪能していただきました。



会場では、試食した品種の特性をまとめたパネルや実物を展示し、担当職員に質問される方も多数いらっしゃいました。

観察・相談コーナーでは、病虫害防除や栽培法に関する相談のほか、栽培技術を中心とした研究成果とともに、顕微鏡や標本など実物の展示を行いました。また、農試に眠っていた古い資料の展示も人気を集めました。



前庭のおもしろ体験コーナーでは、大豆やお米を用いたドン菓子作りの実演を目と耳と口で味わっていただき、ミニサッカーゴールやカメラを相手に遊んだり、てん菜の甘さ体感、色のふしぎ観察にも挑戦していただきました。



初めての試みとして、町内農業者グループ「夢ミール」のご協力により、地場産野菜や加工品の直売コーナーを設置し、たいへんご好評をいただきました。



アンケートでは、97%の方から「来て良かった」とご回答いただき、今後の技術開発を期待する貴重なご意見、ご声援もたくさん頂戴しました。研究の推進はもとより、さらに多くの方々に農業と試験場の仕事を知っていただけるよう、広報活動にも努力してまいります。